

大規模災害を想定したシミュレーション意見交換会の開催

～ 梯川の堤防決壊、手取川上流の天然ダム決壊を想定し、
復旧を速やかに行うための行動計画について議論します ～

- 近年の地球温暖化によるゲリラ豪雨等の増加により、河川堤防の決壊リスクや、山間部の大規模土砂災害による天然ダムの形成など、従前の災害規模を上回る大規模災害の発生が懸念されています。
- これに対し、平常時から「被害を防止するための水防活動」や「出来るだけ被害を軽減し地域の早期復興に繋げていくための迅速な復旧活動」等の取り組みが重要となってきます。
- 今年度は、洪水により梯川の河川堤防が決壊した場合、白山上流域で天然ダムが形成され決壊した場合を想定し、緊急復旧を速やかに行う行動計画について、事務所職員、災害応急対策協定業者、防災エキスパートが災害時の連携方針を議論を行い、今後の災害時に生かす取り組みを行います。

場 所：金沢河川国道事務所 2F 会議室

時 刻：平成25年9月9日（月） 13:30～15:00

参加者：災害応急対策協定業者、防災エキスパート
金沢河川国道事務所
以上40名（予定）

平成25年7月29日出水に
おける梯川での水防活動状況



【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

工務第一課長 万行 康文

T e l : 076-264-8547 (課直通) FAX 076-233-9612